

地震研究所共同利用・研究集会

「関東周辺地域の地殻構造と強震動予測」(2002-W-01) (代表者: 笠原敬司)

大都市圏地殻構造調査研究計画検討シンポジウム

5月13日			
13:00	1	開会の辞	笠原敬司 (防災科研)
13:05	2	「大都市圏地殻構造調査研究計画」の経緯と目的	平田 直 (地震研)
13:20	3	Interdisciplinary studies for urban hazards: Seattle (SHIPS) and Southern California (SCEC).	David Okaya (ERI, USC)
	4	強震動予測研究の現状と課題	(座長: 瀧澤 一起)
14:00	4.1	推本における強震動予測の現状	藤原広行 (防災科研)
14:15	4.2	確率論的強震動予測に必要なもの	翠川三郎 (東工大)
14:30	4.3	強震動シミュレーションのための地下構造	山中浩明 (東工大)
14:45	4.4	首都圏でのシナリオ強震動予測に必要なもの	瀧澤 一起 (地震研)
15:00	4.5	近畿圏でのシナリオ強震動予測に必要なもの	岩田知孝 (防災研)
15:15	4.6	大阪堆積盆地構造モデルと地震動のモデリング	香川敬生 (地盤研)
	4.7	(コメント)自治体等との連携による首都圏強震動ネットワークの構築	菊地正幸 (地震研)
15:30-15:45	(休憩)		
	5	震源断層のモデル化 (巨視的パラメータ)	(座長: 佐藤比呂志)
15:45	5.1	断層モデルの高度化へのアプローチ	佐藤比呂志 (地震研)
16:00	5.2	南関東の地殻変動と地震活動: 最近の新知見が提起する課題	宮内崇裕・伊藤谷生 (千葉大学)
16:20	5.3	(コメント) 山梨県北東部における地震観測 (序報): フィリピン海プレート上面把握を目指して	津村紀子・伊藤谷生 (千葉大), 今泉俊文・加藤一 (山梨大)
16:25	5.4	首都圏の歴史地震と強震動	武村雅之 (鹿島)
16:40	5.5	関東平野の反射法地震探査	笠原敬司 (防災科研)・井川 猛 (地球科学総合研究所)
16:55	5.6	反射法地震探査によるプレートのイメージングと相似地	木村尚紀 (防災科研)
17:10	5.7	関東地域の地質構造・新第三紀層位学の立場から	高橋 雅紀・柳沢 幸夫 (産総研)
17:25	5.8	近畿三角帯の活断層-震源断層システムの形状	池田安隆 (東京大)
5月14日			
9:00	5.9	先第三系基盤構造からみた北関東の断層形状	山北 聡 (宮崎大)
9:15	5.10	近畿圏における被害地震と地下構造	伊藤 潔 (防災研)
9:30	5.11	歴史地震データによる断層モデル構築	都司嘉宣 (地震研)
9:45	5.12	地震学的手法を用いて活断層深部構造を探る	西上欽也 (京大防災研)
10:00	5.13	震源断層の不均質構造と破壊過程との関係-2000年鳥取県西部地震の場合-	渋谷拓郎 (京大防災研)
10:15-10:30	(休憩)		
	6	プレート境界の滑りと固着: 断層の微視的パラメータ	(座長: 菊地正幸)
10:30	6.1	プレート境界断層のアスペリティ	山中佳子 (地震研)
10:45	6.2	反射法地震探査によるプレート境界面の物理特性	蔵下英司 (地震研)
11:00	6.3	相似地震からみたプレート結合と滑り	五十嵐 俊博 (地震研)
11:15	6.4	1923年関東地震の余震活動と、前後の地震活動	浜田信生 (気象研)
11:30	6.5	南関東のテクトニクスに関するコメント	石川有三 (気象研)
11:40	6.6	関東地域の地震活動の特性と自然地震から見た地殻構造	酒井慎一 (地震研)
11:55	6.7	GPSデータから推定するプレート境界のすべり	鷲谷威 (地理院)
12:10	6.8	スローアースクエイク	川崎一朗 (防災研)
12:25	6.9	近畿圏の地震活動	片尾浩 (防災研)
12:40-13:00	7	総合討論	(座長: 平田直)